平成24年度 決算説明書/事務事業評価シート

課 名 社会教育課

予算	款	項	目	決算書	ŧ	
	10	5	3	312	頁	

目	名	
人権同和教育費		

事業名称 人権同和教育推進事業

1. 概要

目的	人権に関する正しい理解を深め、自らの問題として人権問題の解決に取り組む	対象	市民·学校職員
	○人権同和教育講座事業・・・各町の公民館で人権連続講座や公民館クラブ生、高齢者、女性団体、小・中学生 報償費 40,000円 旅費 16,460円 需用費 441,993円 役務費 15,415円 委託料 35,612円 使用	料 4.30	
事業概要	〇人権を学ぶ子ども会事業・・・三重東小学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、放課行り 組み、豊肥地区解放文化祭に参加した。 委託料 432,600円	後の時	間帯を利用した人権学習に取

臨/経	細事業名称	事業内容(主な	経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	国・県支出金	財源市債	内訳その他	一般	評価
経常	人権同和教育講座事業	講座回数 88回 受講者 2,091名	需用費	959	581	国 · 宋义山亚	JIJIJ	년 0기년 41	— _{预文} 540	3
経常	人権を学ぶ子ども会事業	3団体	委託料	461	433				433	3
		計		1,420	1,014	0	0	41	973	

2. 指標設定

_												
	成	指標名		人権教育の推進	目		指標の設定理由					
	果	10151	八條石 八催教育の推進		標	H27						
	指 数值 —		_	年 '' ² ' 度		総合計画/後期基本計画において、基本施策(6-2-1)の重点施策のため						
	活動	指標	а	講座回数	b		参加人員	С		d		
	指 標	数值	目標	_	目標		_	目標		目標		

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4	
人権教育の推進		_	_	-	
八惟教育の推進		_	_	1	

4. 課題と対応

· · · price = 7/17/0			
課題			
人権に関する関心や認識は高まっているものの、依然として人権8課 題の問題が残っている			
対応(改善点等)			
公民館の人権講座と各種団体への講師派遣及びフィールドワークの 実施により学習会の促進を図る			

活	活動指標名		H 2 2		H 2 3		H 2 4	
а	講座回数		79		82	□	88	口
a	再注凹奴	回	-		_		_	
b	参加人員	7	1,494	人	2,566	人	2,091	人
"	0 参加人貝		_		_		_	
			-		_		_	
С			-		_		_	
			_		_		_	
d			_		_		_	

5. 事業費・・・H22~H24 (決算額)、H25 (予算現額)

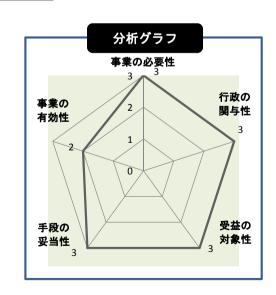
油	算額 (千円)	H22	H23	H24	H25
—	异 (八一)	1,423	1,077	1,014	1,390
	うち経常経費	1,423	1,077	1,014	1,390
	国 費				
財	県 費				
源	市債				
内	その他	32	48	41	30
訳	一般財源	1,391	1,029	973	1,360
	うち経常	1,391	1,029	973	1,360
事業	業費に係る人件費	5,913	5,160	5,153	5,231
事業費に係る人役		1.35	1.20	1.20	1.20

6. H26年度予算の方向性

0. NE 0 十及 7 开切为 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
方向性
前年並
理由
市民一人ひとりが人権意識の 高揚を図り、明るく住みやすい 地域環境作りの推進のため

7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の 必要性	必要性の再確認	3	市民一人ひとりが尊重され生きがい を持って暮らせる環境作りのため
② 行政の 関与性	責任領域の精査	3	行政の責任において推進しなければ ならないため
③ 受益の 対象性	事業対象の確認	3	全市民を対象としているため
④ 手段の 妥当性	活動指標の分析	3	保護者を対象とした連続講座で若い 世代のリーダーの育成に努めた
⑤ 事業の 有効性	成果指標の判断	2	人権を学ぶ子ども会への参加がまだ 少ないため



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、課題解決のための手法を検討し効果を上げること。